

令和5年度 都立若葉総合高校における教科指導の重点

科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「読む」「書く」「聞く」「話す」ための基礎力育成の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教材や単元の特性を生かした言語活動の充実（自分の意見を書く、他の意見を聞く、印象を話し合うなど） ・継続的な、成果の共有とフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> ・より高度な文章を書く、テーマについての議論・討論を行う。 ・聞き取った中身を文章などに再構成する。
地理歴史 公民	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に参加することのできる授業の実施 ・各探究科目の基本となる選択科目を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的・対話的に学ぶことのできる授業の実施 ・各探究科目と総合的な探究の時間の接続
数学	基礎力の定着と数学的な見方・考え方への指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に論理的に考察する授業の実施 ・生徒の理解度や希望進路によって適切な学習ができるよう選択科目を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の定着とともに、更に発展的な内容を考察する力を身に付けることを目指す ・計算の技法や問題解決に向けた考察を、他者に説明できる力が身につくことを目指す
理科	基礎力を確立する指導の充実	<p>計算力を含め、基礎的な学力の確立を目指す。 幅広い難度の問題に挑戦する。</p>	<p>複合的な現象（問題）を理解し、その内容を他者に説明できる能力を養う。</p>
保健体育	生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力の育成	<p>毎時間体づくり運動を行い体力を向上させる。また、スポーツにおいて『する・みる・支える・知る』から自己の適性等に応じた関わり方を学ぶ</p>	<p>総合高校の特色を活かし、選択科目の充実を図り、より専門的な知識・技能を身に付けさせる</p>
芸術	主体的な表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から応用まで幅広い表現を身に付ける。 ・学習意欲と思考力、表現力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分野横断的な課題への取り組み ・校内発表やコンクールへの応募
外国語 (英語)	「話すこと」指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・全年次で音読テスト又はパフォーマンステストの実施 ・全年次にJET又はALTとの授業を設置してスピーキング活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・時事英語の授業でプレゼンテーションを実施 ・英語会話の授業で毎週JET/ALTとスピーキング力を強化 ・論理・表現Ⅱで調べ学習をもとにしたプレゼンテーションを実施
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科的な見方 ・生活科学的な視点の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を科学的に捉える視点から、生活の問題に気付かせる ・実践的に取り組む活動を重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返ることで考察を深める ・生活の改善をしようとする態度の評価を取り入れた学習活動
情報	「課題解決」につなげる実習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・情報Ⅰにおいてスマスク端末の積極的利用を促す ・民間補助教材を導入し、スマスク端末を活用した自学自習の環境を整える。 ・総合学科におけるキャリア教育の目標を踏まえ、情報系資格試験の取得を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門教科「情報」の授業内容を充実させ、AdobeCCなど専門的なクリエイティブツールを使える環境を整える。 ・授業以外でもコンピュータ教室を開放し、放課後講習会や夏期講習会などを充実させ、教科の枠を越えた情報活用能力を身につける指導を目指す。
福祉	考える前提となる「知ること」を理解し実践する。	<p>さまざまな福祉事象から、必要な「知ること」を学び取り思考に反映させる。</p>	<p>実際の福祉事象の解決策を考える。ただし、同じ課題は存在しないので、知識と思考によって試行錯誤しつつ最適解を求める。</p>